

第6次常滑市総合計画策定

ど
ん
な
ま
ち
に
し
た
い



まちづくり 中学生ワークショップ

開催結果

2021(令和3)年8月



2021(令和3)年9月

常滑市

目 次

1	はじめに	1
	(1) 目的	1
	(2) 概要	1
	(3) スケジュール	2
2	開催結果	3
	(1) 市の“良いところ”、“こうすると良くなる場所”を見つけよう！	3
	(2) 常滑市をもっと良くしよう！公約と取組アイデアを考えよう！	12
3	参加者アンケート結果	18

1 はじめに

(1) 目的

第6次常滑市総合計画の策定にあたっては、基本方針のなかで「本市を取り巻く環境の変化・市民ニーズをとらえた計画づくり」を掲げており、様々な市民参画の機会を設け、多様な視点の市民意見を集約することとしています。

こうしたことから、本市の将来を担う中学生の皆さんから将来のまちづくりの方向性等について意見をいただき、計画に反映していくことを目的に、「まちづくり中学生ワークショップ」を開催しました。

このワークショップを機会に、中学生の皆さんにまちづくりの場に関わっていただくことで、本市の未来を考えるきっかけになるとともに、ふるさと・とこなめへの関心を深め、今後のまちづくりへの参加意識や将来的な定住意識の醸成につなげていくことも期待するものです。

(2) 概要

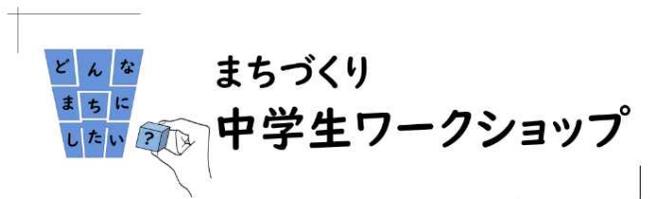
○名称 第6次常滑市総合計画策定「まちづくり中学生ワークショップ」

○参加者 合計16人（市内4中学校から各4人の生徒が参加）

○ファシリテーター ^{くの}久野 ^{ひろゆき}弘幸氏（中京大学 教養教育研究院 教授）

○開催日時・テーマ・内容等

開催日時	場所	テーマ	内容
8月2日(月) 9:20~12:00	市役所2階大会議室	「わたしが市長になったら」	「良いところ・改善したいところ」、「こんなまちにしたいというまちのイメージ」、「組みたいこと」を検討



(3) スケジュール

1 自己紹介

2 開会

(1) 市長あいさつ

(2) スタッフ紹介

3 はじめに

(1) 本日の趣旨、スケジュールの説明

(2) 総合計画のお話し

4 ミニレクチャー「とこなめの“いま”と“これから”」

(1) とこなめの現状と取組紹介

5 ワークショップ「わたしが市長になったら」

(1) 常滑市の“良いところ”、“こうすると良くなるところ”を見つけよう！

常滑市の“良いところ（自慢できるところ、好きなところ）”、“こうすると良くなるところ（改善したいところ）”を見つけ出し、カードに記入します。記入した内容をグループ内で発表します。

(2) 常滑市をもっと良くしよう！ 公約と取組アイデアを考えよう！

記入したそれぞれのカードをワークシートに貼付け、似た内容のカードを集めて整理し、分類ごとに分けます。分けた分類の中から重要だと思われるポイントを3つ選びます。

“良いところ”を伸ばし、“こうすると良くなるところ”を改善するための重点ポイントから、公約（なりたいまちの姿のキャッチフレーズ）について話し合い、それを実現するための取組アイデアを考えます。

6 グループ発表

7 まとめ

8 閉会

2 開催結果

(1) 市の“良いところ”、“こうすると良くなるところ”を見つけよう！

市内4中学校から集まっていた中学生の皆さんが、他校の皆さんと楽しくワークショップをできるように、開会の前にグループ内で自己紹介を行いました。

ワークショップの冒頭では、まちづくりや総合計画について説明したあと、「とこなめの“いま”と“これから”」と題してミニレクチャーを行いました。

そして、中学生の皆さんには市の現状を把握していただいたうえで、市長とともに、市の“良いところ（自慢できるところ・好きなところ）”や“こうすると良くなるところ（改善したいところ）”を検討していただきました。

この作業では、ワークシート「とこなめの木」の枝葉部分に皆さんが書いた「良いところカード」を貼り、地面には「こうすると良くなるカード」を貼りました。これから、「こうすると良くなるカード」に水や栄養を与えることで、どんなまちにしたいかを考えました。



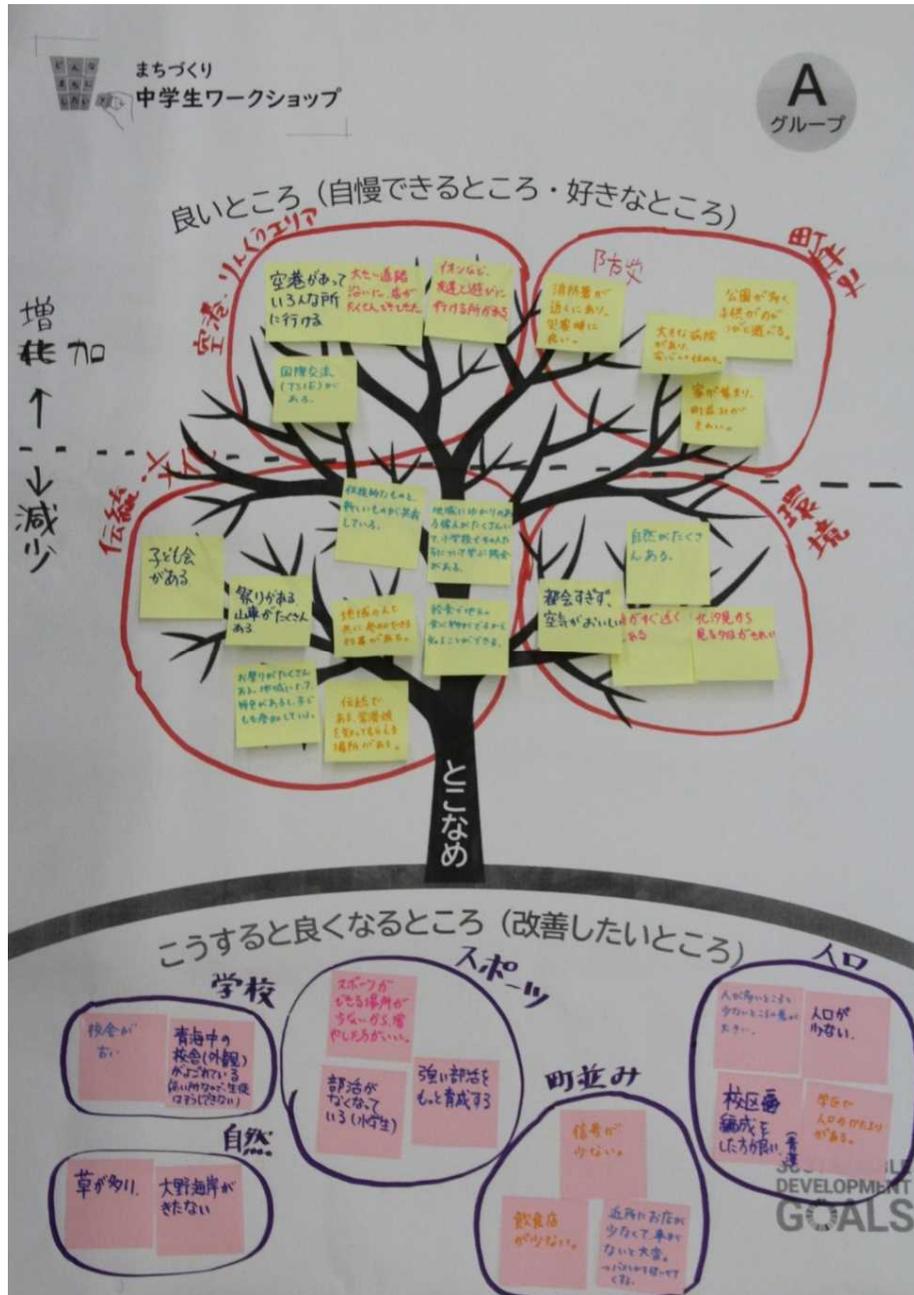
<ワークシート：とこなめの木>

ワークショップとは

- ・ワークショップとは、アイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、会議といっても、堅苦しいものではなく、和やかな雰囲気の中で、楽しみながら参加者が自由に意見やアイデアを出し、話し合いながら成果をまとめ挙げていく検討方法です。
- ・また、まちづくりに関して、「市の考え方を一方的に説明する」「住民の方の意見や要望を一方的に聞く」だけのものではなく、皆さんに、意見を出し合い、話し合ってもらい、地域や市の課題を発見するとともに、今後のまちづくりに反映させようとするものです。

Aグループ

市の“良いところ”、“こうすると良くなるところ”を見つけよう！
検討結果



学校名	学年	名前
青海中学校	3年	山下龍之助 さん
鬼崎中学校	3年	倉田 隆希 さん
常滑中学校	3年	安井 心優 さん
南陵中学校	3年	鈴木 百華 さん



良いところ (自慢できるところ・好きなところ)

■町並み・防災

- ・公園が多く、子どもがのびのびと遊べる
- ・大きな病院があり、安心して住める
- ・消防署が近くにあり、災害時に良い
- ・家が集まり、町並みがきれい

■空港・りんくうエリア

- ・空港があっという間に色々な所に行ける
- ・大きい道路沿いに店がたくさんできてきた
- ・イオンなど、友達と遊びに行ける所がある
- ・国際交流 (TSIE) がある

■環境

- ・自然がたくさんある
- ・海がすぐ近くにある
- ・都会すぎず、空気がおいしい
- ・北汐見から見る夕日がきれい

■伝統・文化

- ・伝統的なものと新しいものが共存している
- ・地域にゆかりのある偉人がたくさんいて小学校でその人たちについて学ぶ機会がある
- ・給食で地元の食べ物が出るから知ることができる
- ・伝統である常滑焼を知ってもらえる場所がある
- ・地域の人と共に参加できる行事がある
- ・お祭りがたくさんある。地域によって特色があり、子どもも参加している
- ・子ども会がある

こうすると良くなるところ (改善したいところ)

■学校

- ・校舎が古い
- ・青海中の校舎 (外観) がよごれている

■自然

- ・草が多い
- ・大野海岸がきたない

■スポーツ

- ・スポーツができる場所が少ないから増やしたほうがいい
- ・部活がなくなっている (小学生)
- ・強い部活をもっと育成する

■町並み

- ・飲食店が少ない
- ・近所にお店が少なくて車がないと大変
→バスとか使いやすくする
- ・信号が少ない

■人口

- ・人口が少ない
- ・人が多いところと少ないところの差が大きい
- ・学区で人口のかたよりのある
- ・校区編成をした方が良い (青海)

Bグループ

市の“良いところ”、“こうすると良くなるところ”を見つけよう！
検討結果



学校名	学年	名前
青海中学校	3年	濱島 春匡 さん
鬼崎中学校	3年	橋本 和奏 さん
常滑中学校	3年	渡邊 湖心 さん
南陵中学校	3年	蟹江 涼介 さん



良いところ（自慢できるところ・好きなところ）

■伝統

- ・学校の行事や保育園などで陶芸体験・ろくろ体験ができる
- ・焼き物が身近にあり小さい頃から常滑の文化に触れ、興味を持てる
- ・山車やししまい等伝統芸能を大切に、文化祭などで身近に触れ合うことができる
- ・毎年お祭りがあり、山車が通ること
- ・伝統的な街並みが保存されている
- ・セントレアがあるので外国との関わりが多く、異文化も知れる

■自然

- ・豊かな自然がたくさんあること
- ・昆虫採集など自然があるからこそ遊びができる
- ・広い公園がたくさんある
- ・運動が多くできる
- ・人口と自然のバランスが良く、子どもがのびのびと遊ぶことができる
- ・海が近く海岸清掃など鬼崎地区でしかできないボランティアがある

■人との関わり

- ・様々な場所から人が集まっていること
- ・地域や組織が一丸となってボランティアの参加・活動を企画している
- ・こども医療費の拡充など子どもを持つ親が生活しやすい
- ・夜が静かで犯罪発生率が少なく、安全・安心のまちになっている
- ・地域の人数がちょうど良く、隣人と友好関係が築きやすい
- ・近所の方がフレンドリーで仲が良い
- ・外国人観光客と触れ合えること

■施設

- ・住宅地がたくさんできている
- ・新しい施設が増えてきている
- ・大きい道路沿いに飲食店や病院があり、出かけるのが楽
- ・イオンやコストコなど大きなお店が増えてきて利便性が改善されるつつある
- ・ココテラスによって地域が活気づいている
- ・住宅地にコンビニやスーパーなど生活必需品を売っているお店が多い

こうすると良くなるところ（改善したいところ）

■学校

- ・高校や大学が少ないこと
- ・生徒数が多い学校と少ない学校の差が激しいこと

■交通機関

- ・セントレアに車で行くとお金がかかり、セントレアに行きづらい
- ・知多半島の東側に行くまでの電車が遠回りなこと

■安全（施設）

- ・図書館の老朽化が進んでいること
- ・海の近くに保育園や幼稚園が多く、津波など逃げる時に危険

■安全（防犯）

- ・ボートレース場は大人がいっぱいいるというイメージが強く、子どもの遊び場にするのに防犯面が心配

■安全（交通）

- ・大きい通りの車通りが多く、通学路が暗くて狭い裏道になっている
- ・街灯が少なく道も少しがたついているので道路整備と街灯の設置をすると良い
- ・信号が少なく道路を横断している人がいること
- ・学校のバスが通らなくなって交通面でつらくなった人が増えたので、もう一度バスを走らせてほしい
- ・山が多く、高齢者や妊婦さん、子どもなど上り下りが大変
- ・道の草が多い、野犬が多くいる

■その他

- ・セントレアやイオン近くに工場を増やすより、もっと人が集まり楽しめる場所を増やすと良い

良いところ（自慢できるところ・好きなところ）

■建物

- ・国際空港が近くにある
- ・古い町並があり、風情がある
- ・市民病院がキレイで行きやすい
- ・寺、神社が多い
- ・セントレア、コストコなど規模の大きいものがある

■有名

- ・トコタンがかわいい
- ・のりが有名
- ・焼き物が有名で良いと思った

■祭り

- ・地域との関わりが深い
- ・TOTO祭りなど夏祭りがある

■自然

- ・海が近いので、心が癒やされる
- ・海があるから遊びに行ける
- ・空気がキレイ
- ・自然がところどころ残っているところ
- ・自然が豊かで緑がたくさんある

■お店

- ・コンビニがたくさんあって便利
- ・ココテラスという人気の店がある
- ・イオンから空港に無料で行けるバスがある
- ・大きいイオンがあるから便利

■生活

- ・電車など駅がたくさんあるから交通が便利
- ・静かで過ごしやすい、夜でも安全に外に出られる
- ・人がみんな優しくて悪い人がいない
- ・海外から来た人でも道に迷った時、常滑の人なら聞きやすい気がする！

こうすると良くなるところ（改善したいところ）

■建物

- ・ダンスなど鏡が必要な練習施設やスターバックスなど人気のお店があるといいと思う！
- ・スポーツができる場所や施設を増やす
- ・南にスーパーがあまりないので増やす
- ・学校の整備をする
- ・図書館をキレイにするともっと利用者が増えると思う

■有名

- ・もっと観光PRをしたほうが良いと思う
- ・常滑の食、健康によいあかもくなどをアピールする

■自然

- ・海にゴミがたくさん落ちているからゴミ箱を設置できると良い
- ・掃除をしてりんくうビーチの海の色を緑色→青色にする

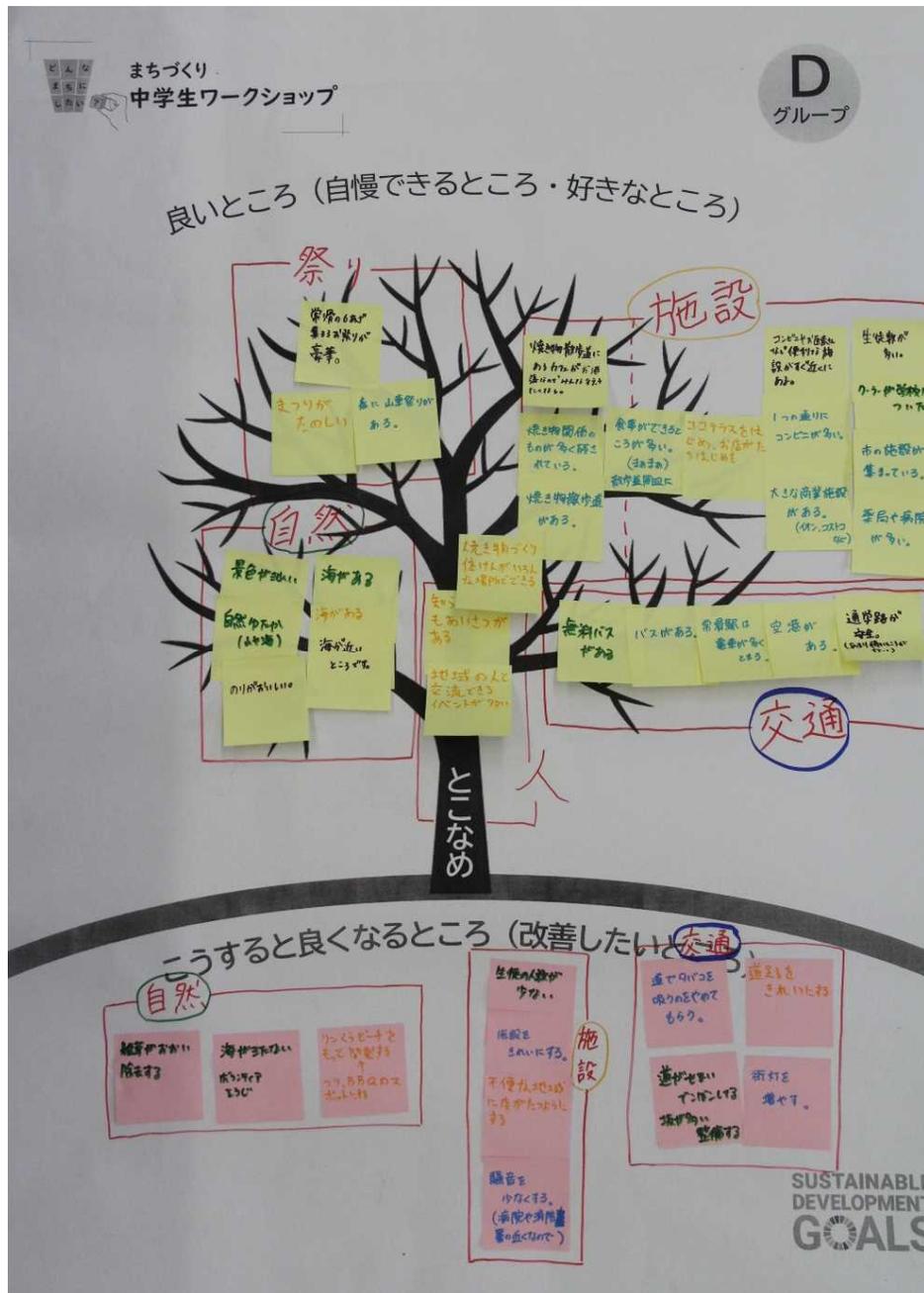
■生活・交通

- ・夜があかりがなく道路が暗い
- ・道路が急に狭い所や車が2台通れないところがある
- ・道を広くして自転車専用通行の所にペイントをする
- ・バスが全然動いていない
- ・街灯を増やす（防犯になるため）

Dグループ

市の“良いところ”、“こうすると良くなるところ”を見つけよう！

検討結果



学校名	学年	名前
青海中学校	3年	岡田 明珠 さん
鬼崎中学校	3年	村林 摩耶 さん
常滑中学校	3年	村上 美幸 さん
南陵中学校	3年	鈴木 光琳 さん



良いところ（自慢できるところ・好きなところ）

■祭り

- ・常滑の6字が集まるお祭りが豪華
- ・春に山車祭りがある
- ・祭りが楽しい

■自然

- ・景色がきれい
- ・海がある、海が近い
- ・自然豊か（山や海）
- ・海苔がおいしい

■施設

- ・やきもの散歩道にあるカフェがお洒落なのでみんな行きたくなる
- ・焼き物かんけいのものが多く残されている
- ・コンビニやお医者さんなど便利な施設がすぐ近くにある
- ・薬局や病院が多い
- ・大きな商業施設がある（イオン、コストコなど）
- ・市の施設が集まっている
- ・クーラーが学校について
- ・生徒数が多い

■交通

- ・無料バスがある
- ・常滑駅は電車が多くとまる
- ・空港がある
- ・通学路が安全（あまり怖いところがない）

■人

- ・知らない人でもあいさつがある
- ・地域の人と交流できるイベントが多い

こうすると良くなるところ（改善したいところ）

■自然

- ・雑草が多いので除去する
- ・海がきたない（ボランティアや掃除が必要）
- ・りんくうビーチをもっと開発する（釣りやBBQのスポットにする）

■施設

- ・施設をきれいにする
- ・不便な地域に店ができるようにする
- ・騒音を少なくする（病院や消防署の近くのため）
- ・学校によって生徒の人数が少ない

■生活・交通

- ・道路をきれいにする
- ・道でタバコを吸うのをやめてもらう
- ・街灯を増やす
- ・道がせまい、でこぼこしている、坂が多いので整備する

(2) 常滑市をもっと良くしよう！公約と取組アイデアを考えよう！

グループ内で発表した市の“良いところ”や“こうすると良くなるところ”について記入したカードをもとに、内容ごとに集めて整理・分類分けをしました。

そして、分類分けした中から、重要だと思われるポイント(今後も伸ばしていきたい“良いところ”、今後改善していきたい“こうすると良いところ”)を3つ選び、選んだ3つの重点ポイントをもとに、公約(なりたいまちの姿)を考え、それを実現するための取組アイデアを話し合いました。

最後に、グループごとの発表を通して、中学生の皆さんが考える「なりたいまちの姿」を市長が受取りました。



市長になったら 私たちの公約

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 子どもが住みやすいまちをずっと	子どもが増えると、スポーツが盛んになり、まちが活性化するから	・施設を作る
② 伝統をずっと	現在、減少傾向にある文化を守り、常滑市を有名にしたい	・SNSを活用して広げる →他の地域の人参加できるイベント
③ 美しい景観をずっと	自然を守りつつ、今ある施設をキレイにすることで、“すみたい”と思える町にする	・学校をキレイにする

市長になったら
私たちの公約

Aグループ

メンバー 宍井心優・鈴木百華
金田隆希・山下龍之助

まちづくり
中学生ワークショップ

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 子どもが住みやすいまちをずっと	子供が増えると、スポーツが盛んになり、まちが活性化するから。	施設を作る
② 伝統をずっと	現在、減少傾向にある文化を守り、常滑市を有名にしたい。	SNSを活用して広げる ↳他の地域の人参加できるイベント
③ 美しい景観をずっと	自然を守りつつ、今ある施設をキレイにすることで、住みたいと思える町にする。	学校をキレイにする。



市長になったら 私たちの公約

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 伝統と発展のまち	常滑山車祭り、常滑焼まつりなど、市民、国内や外国の観光客に様々な伝統芸能に触れてもらい、観光業にさらなる発展をしてほしいという想い	<ul style="list-style-type: none"> ・セントレア内の出入口にポスター掲示、チラシに抽選券をつける ・観光大使に有名な人を起用し、PRをする
② 思いやりのまち	山が多く、高齢者・子ども・子どもを持つ親・妊婦さんなどが上り下りが大変なので少しでも多くの方がバスを利用し、楽に生活できるようにしたいから	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停がなくても停まってくれるバスにする (例)手をあげたらタクシーのように停まってくれるバス
③ 安全のまち	現在、歩道の雑草・歩道や信号の少なさなど、交通整備が行き届いていない場所が多くあり、事故の危険性が高いので安全なまちになってほしいという想い	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道、縁石、信号を増やし、歩行者のための道路を整備する ・一斉清掃の範囲を広げるなどして、多くの場所に整備が行き届くようにする

市長になったら
私たちの公約

B

グループ

メンバー 濱島春匡、橋本和奏、
渡邊湖心、蟹江涼介

まちづくり
中学生ワークショップ

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 伝統と発展のまち	4年に1度の常滑山車祭りとこむぎ焼祭りなど、市民、国内や外国の観光客に様々な伝統芸能に触れてもらい、観光業にさらなる発展をしてほしいという想い。	セントレア内の出入口にポスター掲示、チラシに抽選券をつける。観光大使に有名な人を起用し、PRをする。
② 思いやりのまち	山が多く、高齢者・子ども・子どもを持つ親・妊婦さんなどが上り下りが大変なので少しでも多くの方がバスを利用し、楽に生活できるようにしたいから。	バス停がなくても止まってくれるバスにする。 (例)手をあげたらタクシーのように止まってくれるバス
③ 安全のまち	現在、歩道の雑草・歩道や信号の少なさなど、交通整備が行き届いていない場所が多くあり、事故の危険性が高いので安全なまちになってほしいという想い。	歩道、縁石、信号を増やし、歩行者のための道路を整備する。 一斉清掃の範囲を広げるなどして、多くの場所に整備が行き届くようにする。



市長になったら 私たちの公約

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 誇れるものがあるまち、常滑	常滑のシンボルであるまねき猫を世界中の人に知ってもらいたい	・大仏様ぐらい大きなまねき猫を作る
② 誰もが平等な町	老若男女や障がい者の人など誰もが気軽に利用できる店や建物の多い町にしたい	・バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した店や建物を増やす
③ 平和な町	多くの人々が安心、安全に生活を送れるようにしたい！	・街灯を増やす ・せまい道を広くする ・バスの本数を増やす

市長になったら
私たちの公約

Cグループ

メンバー 隼 透人 莉央 莉花

まちづくり
中学生ワークショップ

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① 誇れるものがあるまち、常滑	常滑のシンボルであるまねき猫を世界中の人に知ってもらいたい。	大仏様ぐらい大きなまねき猫を作る
② 誰もが平等な町	誰もが気軽に利用できる店や建物の多い町にしたい。→老若男女や障がい者の人へ	バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した店や建物を増やす。
③ 平和な町	多くの人々が安心、安全に生活を送れるようにしたい！	・街灯を増やす ・せまい道を広くする ・バスの本数を増やす



市長になったら 私たちの公約

公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① みんなが便利なまち	地域で差が出ないようにしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・お店を増やす ・移動しやすくし、お店に行きやすく
② みんなで泳ごう。海があるまち。	海がきたないからきれいにしたい 観光スポットにしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃をする ・ゴミ箱を増やす、分かりやすくする
③ 移動が快適なまち。	お店に行きやすくしたい お年寄りも行きやすく	<ul style="list-style-type: none"> ・お店を利用したら、バス料金を無料にする(バスとお店の一体化) ・バスをPRする

市長になったら
私たちの公約

Dグループ

メンバー 鈴木光琳 村林摩那
岡田明珠 村上美幸

まちづくり
中学生ワークショップ

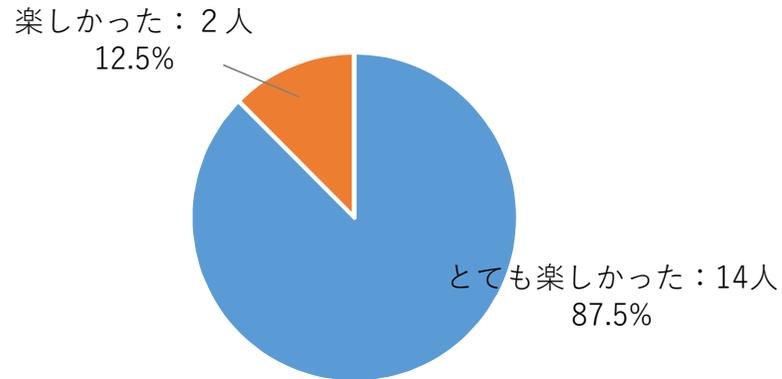
公約 (なりたいまちの姿=キャッチフレーズ)	理由、意味、想いなど	取組アイデア
① みんなが 便利 なまち	地域で差が出ないようにしたい。	お店を増やす。 移動しやすくお店に行きやすく。
② みんなで泳ごう。 海があるまち。	海がきたないからきれいにしたい。 観光スポットにしたい。	清掃をする。 ゴミ箱を増やす。分かりやすくする。
③ 移動が 快適 なまち。	お店に行きやすくしたい。 お年寄も行きやすく。	お店を利用したら、バス料金を無料にする。(バスとお店の一体化) バスをPRする。



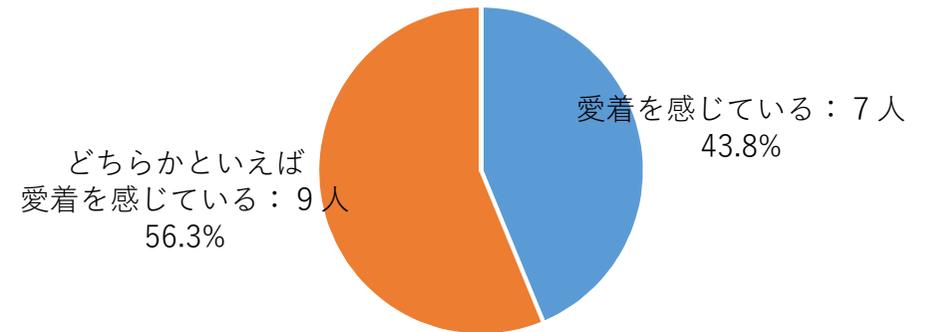
3 参加者アンケート結果

(1) アンケート結果

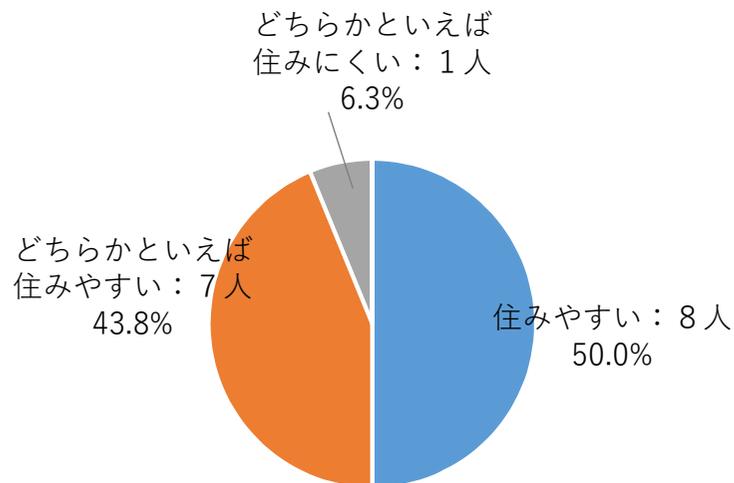
①ワークショップ全体の満足度を教えてください。



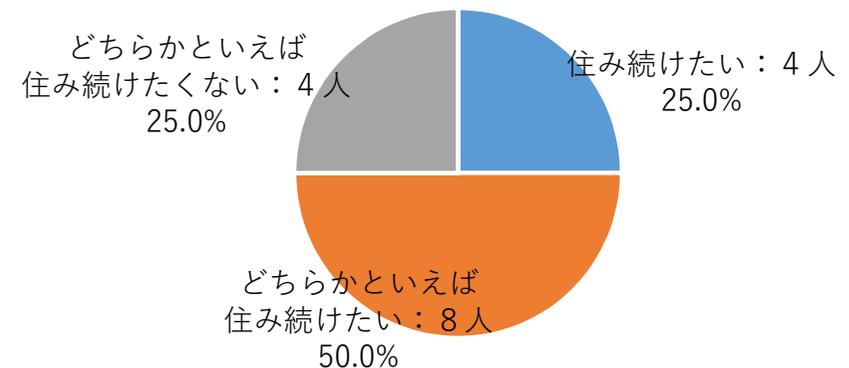
③常滑市に愛着を感じていますか？



②常滑市は住みやすいところだと思いますか？



④大人になっても常滑市に住み続けたいと思いますか？



(2) ワークショップに参加した感想 ※抜粋

- 自分と違う地域に住んでいる人と話し合えたので、学校だとみんな知っているようなことしか出ないけど、いろんな意見が出てきました。
- 常滑市についての意見が似ている人が多くて、それについて深く掘り下げながら話し合いができた。また、違う意見を持つ人も多く、話し合いが盛り上がった。
- 常滑市について、改めて考えるとたくさん良い事があって、自分の中では最高の市だと思います。
- 常滑市について考える機会というのは少ないと思うので、良いところ・改善できるところを見つけられてとても良いワークショップだったなと思います。
- 住んでいる町について考えたことはあまりなかったけれど、そういうことに目を向けるのも大切だと感じました。
- 自分から見えている常滑と他地区の人から見えている常滑は少し違って色々な考え方に触れ、常滑は良いところだなと思った。1からつくっていくのは難しくてもみんなで創っていくのは楽しかった。
- 今回ワークショップに参加して、今までにないほど常滑について考え、他の班の意見も聞いて自分の考えの視野が広がったと僕は思いました。
- このような他の学校の子と話す機会はめったにないと思うので、経験することができて良かったです。
- 今回考えたことを私たちも意識し、市民の一員として常滑市を盛り上げていきたいです。関わりのない他校の生徒ともお話しができ、たくさんのことを学びました。
- 最初は不安も緊張もあったけど、グループのみんなと意見を言い合える感覚が楽しかったし、講師や先生方がさまざまなアドバイスをしてくれて、一丸となって1つのものをつくりあげることに達成感があった。
- 最初、自分の意見がちゃんと出せるか不安でした。でも1人ひとりが1つずつ発言していくと仲も深まってたくさん意見交換ができました。
- 今まで、常滑のことを深く考えたことがなかったので、どこが良いのか、どこが良くないのかがはっきりわからなかったけれども今回参加して常滑はよいまちだと感じることができました。
- 一人では出てこない意見も他の地域の人と話すと、自分の地域の特色やいいところがたくさん見つかった。自分の住んでいる市について考えるのはあまりないから良い経験になった。
- この会場の和やかな空気感のおかげで楽しく、そして真剣に案を出し、発表することができました。今回のワークショップを通じて、様々なことを学びました。
- 今後の常滑にも関わるような機会に参加できてとても素晴らしい体験で良かったと思います。
- これまでにいくつかこの常滑に不便だと感じるがあったので、このワークショップに参加できたことでそういった不満が近い将来になくなっていると思うとこの半日は実に充実していたと思います。